（様式６） 社会資本総合整備計画　事後評価書

計画の名称	伊豆市の良好な生活環境の確保		
計画の期間	平成22年度～平成26年度　(5年間)	交付対象	静岡県伊豆市

計画の目標

都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、合わせて公共用水域の水質の保全に資することを目的とした汚水管きょ等の整備を実施し、下水道の普及を図る。
処理場、ポンプ場については既存設備の長寿命化を図り、計画的な改築を進めていくことにより効率的な安全・安心を確保する。

計画の成果目標（定量的指標）

・下水道処理人口普及率を55.7%(H22当初)から70.0%(H26)に増加。
・処理場、ポンプ場について長寿命化計画策定率を0.0%(H22当初)から30.0%(H25)に増加。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H　末)	最終目標値 (H26末)	備考
下水道処理人口普及率（%） =（処理区域人口(人)）　/（行政区域人口：住民基本台帳(人)）	55.7%		70.0%	
長寿命化計画策定率（%） =（長寿命化計画策定施設数(箇所)）　/（全体施設数(箇所)）	0.0%		30.0%	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	A	B	C	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）
	1,613 百万円	1,596 百万円	0 百万円	17 百万円	1%

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

伊豆市建設部にて事後評価を実施

事後評価の実施時期

平成28年3月

公表の方法

伊豆市ホームページ

事　後　評　価

１．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	進捗状況	備考
1-A1-1	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	汚水	新設	東部処理区管渠整備（未普及解消）	管路φ75～φ250 L=1594m	伊豆市	■		■	■	■	305		
1-A1-2	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	汚水	新設	白岩処理区管渠整備（未普及解消）	管路φ75～φ250 L=855m	伊豆市			■	■	■	96		
1-A1-3	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	水処理	改築	土肥浄化センター整備	改築 現有処理能力3,862㎥/日	伊豆市	■	■	■	■	■	1,189		
1-A1-4	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	処理場	改築	土肥浄化センター長寿命化計画策定	長寿命化検討	伊豆市	■					3		
1-A1-5	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	ポンプ場	改築	土肥汚水中継ポンプ場長寿命化計画策定	長寿命化検討	伊豆市	■					3		
										合計						1,596		

B　関連社会資本整備事業　なし

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	進捗状況	備考
									合計								

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業				なし													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費	進捗状況	備考
										H22	H23	H24	H25	H26			
1-C1-1	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	新設	東部処理区末端管渠整備	管路φ200　面整備2.0ha	伊豆市						17		
1-C1-2	下水道	一般	伊豆市	直接	伊豆市	新設	白岩処理区末端管渠整備	管路φ150　面整備1.6ha	伊豆市						0		
									合計						17		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1-1	基幹事業である幹線と接続した末端管渠整備を一体的に行うことにより下水道処理人口普及率の増加が期待できる。	
1-C1-2	単独事業として行った。	

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標①（下水道処理人口普及率（%））	最終目標値	70.0%	目標値と実績値に差が出た要因
	最終実績値	53.1%	
指標②（長寿命化計画策定率（%））	最終目標値	30.0%	目標値と実績値に差が出た要因
	最終実績値	20.0%	

目標値と実績値に差が出た要因（指標①）：

管渠整備（未普及解消）実施による整備コストの増（推進区間）、また対象事業のうち処理場の改築事業を優先したことから予定延長を実施できず施設整備が進まなかったことから普及率が伸びなかった。なお、農業集落排水事業及び合併処理浄化槽を合わせた普及率は70.7%となる。

【実績値の算出】　17349人÷32678人×100＝53.1%

目標値と実績値に差が出た要因（指標②）：

土肥汚水中継ポンプ場について、耐震診断を実施した結果、杭基礎の補強が必要となった。その実施には周囲の観光モニュメントが支障となり、関係部署との調整したところ同施設の改修時期に合わせ耐震化対策を実施することが実施可能な計画と判断された。また、対津波対策も必要となったため再検討後、長寿命化計画策定を予定することとした。

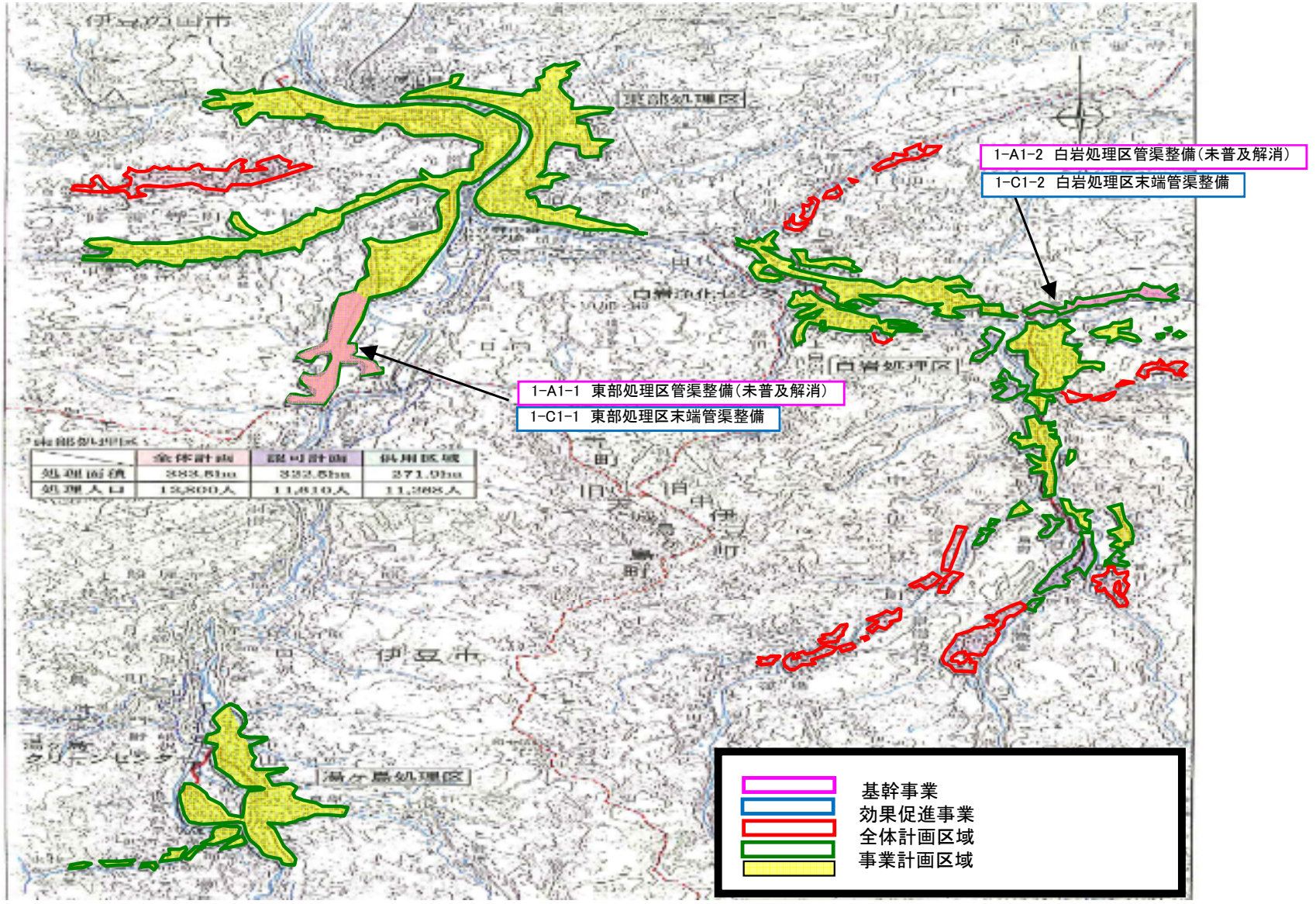
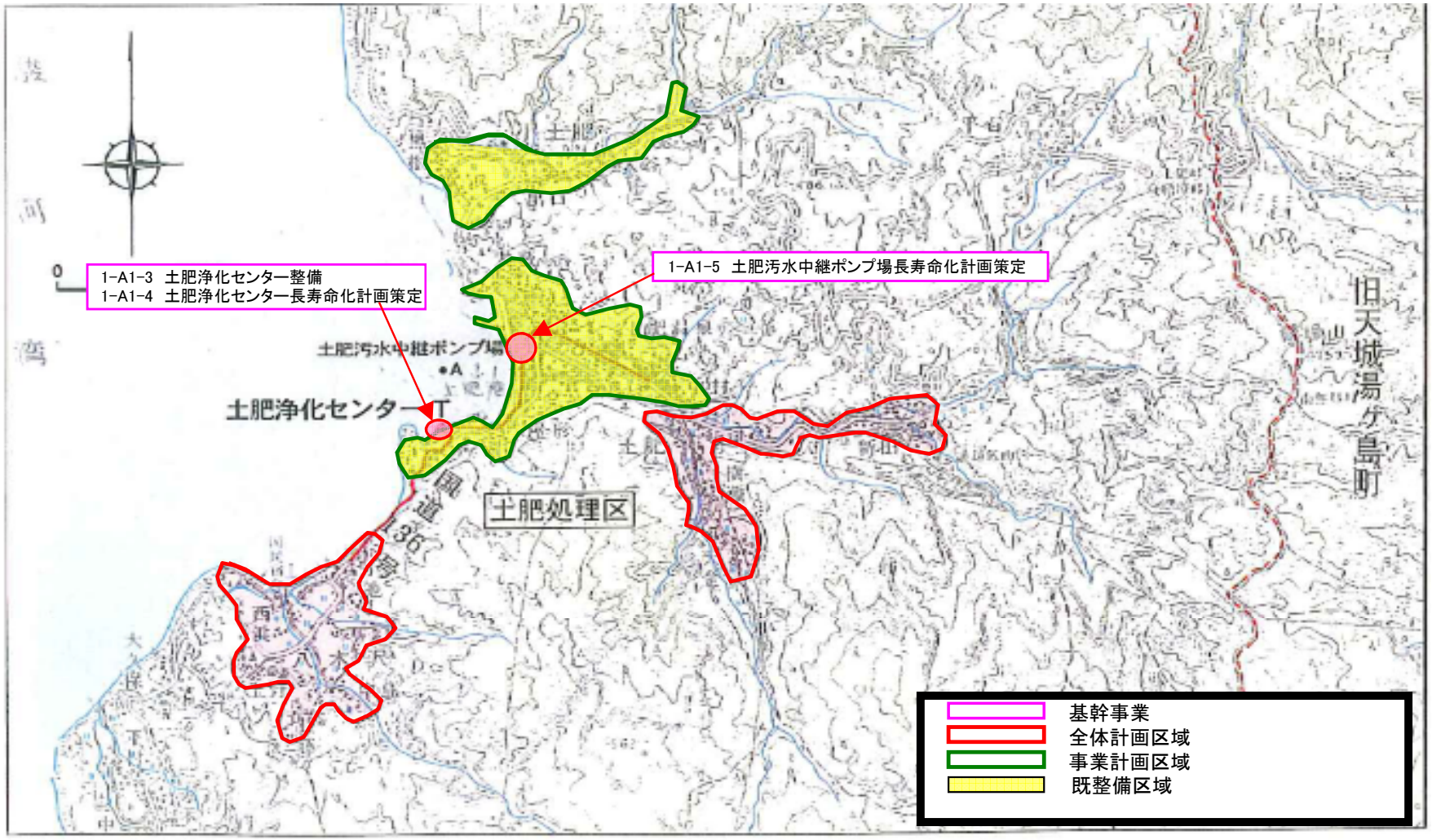
【実績値の算出】　2施設÷10施設×100＝20.0%

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

３．特記事項（今後の方針等）

伊豆市の下水道事業は、公共水域の水質を保全し、市民の安全・安心、快適な住環境を実現するため、下記に示す社会資本総合整備計画を別途定めている。
・伊豆市下水道施設防災対策事業（防災・安全）
今後も未普及対策を進めるとともに、終末処理場及び管渠の長寿命化と耐震化を図り、安全・安心なまちづくりを進めていく。

計画の名称	1　伊豆市の良好な生活環境の確保		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	静岡県伊豆市



計画の名称	1　伊豆市の良好な生活環境の確保		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	静岡県伊豆市